



## 「風さやか」通信（第5号）



### 「風さやか」の栽培試験の取組が行われています！ ドローンを用いたリモートセンシングによる生育診断

北信農業農村支援センターでは、本年、中野市内でリモートセンシングによる「風さやか」の生育診断の現地実証試験に取り組んでいます。この技術は、マルチスペクトルカメラを搭載したドローンで水田を空撮し、撮影データを数値化してイネの生育進度や生育ムラなどを可視化します。

これにより、追肥などのその後の栽培管理を的確かつ迅速に行うことができ、「風さやか」の品質向上と安定化につながるものと期待されます。

7月22日には講習会も行われ、参加された農家の方も関心を示されました！



「風さやか」水田でのドローンによるセンシング

※ドローンによる空撮は上空57mの高さから、7月22日、8月18日に行われました。

### 8月中旬の「風さやか」栽培の留意点・ポイント

#### 斑点米カメムシに注意を！

畦草刈りの実施時期に注意！

発生種を確認し、効果的な薬剤で適期防除の実施を！

#### ① 畦草刈り

出穂期2週間前～糊熟期までは実施しないようにします。この間の草刈りはカメムシ類が水田内に侵入し、被害が増えます。

#### ② 本田防除

発生種により効果的な薬剤や防除適期が異なります。最近、被害が増えているカスミカメムシ類は、出穂10日後頃が適期です。薬剤と使用法はJA等の販売店に御相談ください。



斑点米：カメムシによる吸汁害



斑点米カメムシ：最近被害の多いカスミカメムシ類  
アカヒゲホソミドリカスミカメ(左)、アカスジカスミカメ(右)

7月の長雨から一転、8月は猛暑となっています。各地の「風さやか」も出穂期を過ぎましたが、今後は特に水管理など高温障害対策に御配慮ください。また、高温により登熟も確実に前進すると予想されますので、「今年は収穫開始が早くなる！」という意識でコンバインや乾燥調製施設の準備をお願いします。